

# にら調査方法

## 1 試験区ならびに調査対象株数及び面積

項 目		必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積)*
試験区(1区当り)		4畝×12株=48株(4畝×7株=28株)	2.52㎡(1.47㎡)
調査対象(1区当り)	生育調査等	20株(10株)	1.05㎡(0.525㎡)
	収量調査等	20株(10株)	1.05㎡(0.525㎡)

\*: 栽植密度を畝幅35cm×株間15cm、a当り1905株としたときの面積

## 2 生育調査

項 目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
発 芽	期 良 否	播種粒数の40~50%が発芽した日 発芽の揃い、発芽勢の程度を観察 [良]5~[不良]1	B	観察	月日	1
			B	観察	指数	1
定植時の苗質	葉 数	葉長5cm以上の葉数	A	測定	枚	1
	草 丈	地上部の高さ	A	測定	cm	0.5
	分けつ数		A	測定	本	1
	葉 幅	最大葉	B	測定	mm	1
	葉鞘基部径	最大径	C	測定	mm	1
休眠程度		休眠の深さを地上部の生育から観察 [浅い]5~[深い]1	A	観察	指数	1
萌 芽	始 期	休眠後10%の株の萌芽を認めた日	C	観察	月日	1
		休眠後40~50%の株の萌芽を認めた日	B	観察	月日	1
収穫時の生育	葉 数	最大個体の葉長5cm以上の葉数	A	測定	枚	1
	草 丈	地上部の高さ	A	測定	cm	0.5
	茎 数	株当たり茎数	A	測定	本	1
	葉 幅	最大葉	A	測定	mm	0.1
	1茎重		C	測定	g	
草 姿		立[5]~開[1]	C	観察	指数	1
抽 台		始	C	観察	月日	1
		程 度	A	観察	指数	1
障害の 発生 程度	病虫害 生理 障害	白斑葉枯病 アブラムシ など	A	観察	指数	1
		障害程度と面積に応じて [無]0、[少]1、[中]2、[多]3、[甚]4				

